

平成 25 (2013) 年度 教員活動報告書 (1/4)

学部・学科	総合社会学部・総合社会学科	職名	教授	氏名	ウカイ マサキ 鵜飼 正樹
学歴	昭和56年 3月 京都大学文学部哲学科卒業 昭和59年 3月 京都大学大学院文学研究科（修士課程）社会学専攻修了 昭和62年 3月 京都大学大学院文学研究科（博士課程）社会学専攻単位取得満期退学				
学位	昭和59年 3月 文学修士（京都大学）				
専門分野	社会学、大衆文化論				
専門資格	専門社会調査士（第000317号）				
所属学会	昭和55年11月 現代風俗研究会 昭和59年 4月 関西社会学会 昭和62年10月 日本文化人類学会 平成 4年 9月 滋賀民俗学会 平成11年11月 見世物学会				
受賞	平成 6年12月 現代風俗研究会橋本峰雄賞受賞 平成24年11月 鵜飼ゼミとして、つくりもんまつりの調査・研究、地域文化の発展などの功績により、高岡市感謝状を受ける。				
担当 授業科目	学 部 文化人類学演習Ⅲ・Ⅳ、初年次演習、総合社会学基礎演習、プロジェクト科目、メディア社会論、社会学				
	大学院 地域文化研究Ⅰ（日本研究）、地域文化研究演習Ⅰ（日本研究）、文化人類学基礎研究法演習Ⅰ、文化人類学研究法演習Ⅰ				
論文指導	論文指導担当[主査]（卒論：5名、修士論文：0名） 論文審査担当[主査]（修士論文：2名）				
教育実績 (FD活動)					
その他の 教育実践 活動実績					
H24 年度 研究課題	学部・大学院共通 1. 大衆芸能のフィールド調査研究 2. 通訳ガイドの社会史的研究 3. 現代社会の風俗文化研究 4. 地域社会と民俗行事の研究				
平成 二十五 (2013) 年度の 研究活動 の概要	1. 大衆芸能のフィールド調査研究に関しては、参与観察、インタビュー、資料収集による調査・研究をおこなった。 2. 通訳ガイドの社会史的研究に関しては、ベテランガイド、ジョー岡田さんとともに2012年に立ち上げた「Cool Kyoto Walking Tour」への参与観察とインタビューを主とする調査を実施した。 3. 現代社会の風俗文化研究に関しては、現代風俗研究会理事として、研究会の運営にたずさわるとともに、例会に参加し、研究活動をおこなった。 4. 地域社会と民俗行事の研究に関しては、年中行事への参与観察と資料収集をおこなった。				

平成 25 (2013) 年度 教員活動報告書 (2/4)

平成二十五 (2013) 年度の主な研究成果等	(著書)
	(論文)
	(学会報告、学会活動)
	(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)
	エッセイ： 1. 「見世物小屋の呼び込み口上 一舌先三寸でコマす」、単著、平成25年4月、『月刊みんぱく』第37巻第4号 (pp. 6-7)
	学術講演： 1. 「映画解説『につぼんの、みせものやさん』」、単独、平成25年6月、元町映画館
公開フォーラムコメンテーター： 1. 「ドラマとシステムのまじわるところ ー深田耕一郎『福祉と贈与 ー全身性障害者・新田勲と介護者たち』をめぐって」、平成26年2月、追手門学院大学地域文化創造機構 機関研究「文化復興と芸術創造に関する総合的研究」 第3回公開フォーラム、追手門学院 大阪城スクエア	
(調査活動)	
(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)	
(学内活動)	
大学院文化人類学研究科長、大学教学会議委員、大学運営会議委員、自己点検・評価委員会委員、自己点検・大学院委員会委員、危機管理委員会委員	
平成二十五 (2013) 年度における活動	(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の囑託)
	平成25年度 第9回京都新聞スクラップコンクール審査委員
	(NPO法人等の団体への参画)
・ 現代風俗研究会理事「平6. 12より」 ・ 見世物学会理事「平成11. 11より」	
(その他)	
平成26年 3月 講演「大衆演劇の魅力 ーその“裏表”とおもてなしー」、第12回「地域文化セミナー「関西の文化・芸能・まちづくりを考える」、於：追手門学院 大阪梅田サテライトセミナールーム	
平成二十(2008)～二十四(2012)年度の主な研究成果等	(著書)
	1. 「生活綴方からつながる世界」、単著、平成21年2月、日本図書センター、西川祐子・杉本星子共編著、『共同研究 戦後の生活記録にまなぶ 鶴見和子文庫との対話・未来への通信』(282p, pp194-225)
	2. 「考現学 今和次郎・吉田謙吉編『モデルノロジオ』『考現学採集』」、単著、平成21年5月、世界思想社、井上俊・伊藤公雄編、社会学ベーシック7 ポピュラー文化(239p, pp. 169-178)
	3. 「昭和大衆芸能史の一断面 ー人間ポンプを追って」、単著、平成21年8月、吉川弘文館、内田忠賢・村上忠喜共著、『日本の民俗10 都市の生活』(290p, pp. 181-287)
	4. 『戦後日本大衆文化』、共編著、平成22年6月、社会科学文献出版社(335p)
(論文)	
1. 「つくりもんまつり ー風俗する野菜と祭り」、単著、平成20年6月、新宿書房、現代風俗研究会編著、『野菜万歳 ー風俗学としての農と食 (現代風俗研究会年報30号)』(pp. 148-157)	
2. 「大道芸の戦略」、単著、平成21年3月、日本国際文化学会、『インターカルチュラル』7 (pp. 34-41)	
3. 「鶴見和子文庫未公開資料から発見された生活綴方文集『私の家』」(研究ノート)、単著、平成21年3月、京都文教大学人間学研究所『人間学研究』Vol. 9 (pp. 1-12)	
4. 「解題」、単著、平成21年3月、京都文教大学人間学研究所 共同研究プロジェクト「個人の思想形成と蔵書の研究 ー京都文教大学図書館所蔵の鶴見和子文庫を手がかりとしてー」編集、鶴見和子文庫所蔵 生活綴方文集『私の家』復刻版 (pp. 2-9)	
5. 「大衆演劇はグローバル化の時代をどう生き抜くか?」、単著、平成23年3月、日本国際文化学会、『インターカルチュラル』10 (pp. 83-93)	

平成 25 (2013) 年度 教員活動報告書 (3/4)

(学会報告、学会活動)

1. 「客に接する商売としての芸能」、単独、平成20年7月、日本国際文化学会第7回大会シンポジウム「文化の戦略性をめぐって」、文教大学国際学部
2. 「『つくりもんまつり』をつくる」、単独、平成21年7月、国立民族学博物館共同研究「民俗行事における造り物の多様性」(代表者：福原敏男)、国立民族学博物館
3. 「鶴見和子文庫未公開資料から発見された生活綴方文集『私の家』」、単独、平成22年1月、科学研究費補助金(基盤研究B)『「普通の人々の哲学」と「知識人の思想」の葛藤をめぐる戦後思想史 鶴見和子文庫を開く』(課題番号20320019, 研究代表者)、京都文教大学
4. 「顔の政治/政治の顔」、単独、平成22年9月、現代風俗研究会例会
5. 「考現学の眼」、単独、平成22年10月、第13回暮らしの安全安心研究会、大阪科学技術センター
6. 「『穴』の風俗 ことはじめ」、単独、平成22年12月、現代風俗研究会総会、京都精華大学
7. 「大衆演劇はグローバル化の時代をどう生き抜くか?」、単独、平成23年7月、日本国際文化学会創立10周年記念特別シンポジウム「グローバル化するポピュラーカルチャーと国際文化学」、名桜大学

(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)

エッセイ：

1. 「『根強さ』の理由 一今を生きる文化として」、単著、平成20年12月、『上方芸能』170号(pp. 19-23)

書評：

1. 「立石勝規『三ツ矢サイダーはなぜ生き残ったのか』(講談社)」、単著、平成21年4月、共同通信配信

学術講演：

1. 「フィールドワークのおもしろさとむずかしさ 一大衆演劇のフィールドワークから考える一」、平成20年12月、四国学院大学社会学部応用社会学科主催講演会

シンポジウム企画・司会：

1. 「鬼の踊りから祈りの踊りへ 大道芸人・ギリヤーク尼ヶ崎 40年の軌跡」、共同、平成21年5月、京都文教大学人間学研究所公開シンポジウム、五條会館
2. 「老人よ大志を抱け」、共同、平成22年3月、京都文教大学人間学研究所公開シンポジウム、京都文教中学・高等学校

新聞連載：

1. 「サムライ日本ショー ジョー岡田が見た戦後」、単著、平成20年5月～平成21年8月、京都新聞文化面(毎週水曜日・50回にわたり連載)

その他：

1. 「解題 講演記録 鶴見和子『現代思想と生活記録運動』」、単著、平成25年3月、京都文教大学人間学研究所 人間学研究Vol. 13 (pp. 1-29)

(調査活動)

(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)

1. 平成20年度-平成22年度
科学研究費補助金(基盤研究B)「「普通の人々の哲学」と「知識人の思想」の葛藤をめぐる戦後思想史 鶴見和子文庫を開く」(課題番号20320019) 研究代表者
2. 平成23年 4月-平成24年 3月(助成期間)
平成22年度日産財団研究助成社会学分野「ニッポンを伝える 一通訳ガイドのライフヒストリーとその『芸』」研究代表者

(学内活動)

- 平成17年 4月 社会調査士委員会委員「平23.3まで」
 平成19年 4月 チャカル編集長「平24.3まで」
 平成20年 4月 人間学研究所所長「平22.3まで」
 平成22年 4月 自己点検・大学院委員会委員「現在に至る」
 平成23年 4月 大学院文化人類学研究科長「現在に至る」
 大学教学会議委員「現在に至る」

平成二十二年(2008)～二十四(2012)年度の主な研究成果等

平成 25 (2013) 年度 教員活動報告書 (4/4)

<p>平成二十〇〜二十四 (2008〜2012) 年度の主な研究成果等</p>	<p>(学内活動 つづき)</p> <p>平成23年 4月 大学運営会議委員「現在に至る」 自己点検・評価委員会委員「現在に至る」 自己点検・評価 教育研究専門委員会委員「平24.3まで」 危機管理委員会委員「現在に至る」 キャンパス・ハラスメント防止対策委員会委員「平25.3まで」 人事委員会委員「平25.3まで」 教務委員会委員「平24.3まで」</p>
<p>平成二十〇〜二十四 (2008〜2012) 年度の社会における活動</p>	<p>(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の嘱託)</p> <p>平成20年度 第4回京都新聞スクラップコンクール審査委員 平成21年度 第5回京都新聞スクラップコンクール審査委員 第26回国民文化祭 全国田楽まつり企画委員会委員 平成22年度 第26回国民文化祭 全国田楽まつり企画委員会委員 (京都府宇治市) つくりもんコンクール審査委員 (富山県高岡市) 平成22年度 第6回京都新聞スクラップコンクール審査委員 平成23年度 第26回国民文化祭 全国田楽まつり企画委員会委員 (京都府宇治市) つくりもんコンクール審査委員 (富山県高岡市) 第7回京都新聞スクラップコンクール審査委員 平成24年度 第8回京都新聞スクラップコンクール審査委員</p> <p>(NPO法人等の団体への参画)</p> <p>平成 6年12月 現代風俗研究会理事「現在に至る」 平成11年11月 見世物学会理事「現在に至る」</p> <p>(自治体や企業における研修等の講師)</p> <p>平成23年 8月 「大道芸 演者と観客のかけひき」、アスニー・セミナー講師、於：京都アスニー</p> <p>(その他)</p> <p>平成24年 3月 フィールドリサーチオフィスによる「まちなみ巡り」ナビゲーター 平成24年 9月 講演「ちんどんの文化誌 ～路上の音曲の起源と現在～」、第8回「けいはんな文化カフェ」、於：けいはんな記念公園ビジターセンター</p>